

平高新聞

第11号

発行：長崎県立平戸高等学校教務部

平成25年2月27日

校長室から

いよいよ3月1日は卒業式です。本校では、式場に入る卒業生を、在校生が合唱で出迎えます。以下は、その歌について、生徒たちに呼びかけたものです

空いっぱい 空があるように

海いっぱい 海があるように

人よ 心いっぱい 美しい心をもって

この空を この海を この土を 愛そう

藤浦 洸

この歌と初めて出会ったのは、高校1年の春、遠足で行った佐世保の弓張岳でした。九十九島を見下ろす場所にこの詩を刻んだ歌碑が立っていました。海のない町に生まれ育った私には大きな感動で高校時代の忘れられない思い出です。

それから30年以上たってまた、この詩と出会いました。今度は平戸の猶興館高校でした。この詩を書いたのが、子どもの頃よくテレビ番組にも出ていた藤浦洸で、平戸の出身だったと知りました。さらに猶興館高校が中学猶興館(旧制中学校)と呼ばれていた時代、藤浦洸はこの学校に入学し、途中転校していますが、同窓生の1人に数えられていました。

有名な作曲家、団伊玖磨が弓張岳に立つこの歌碑を見て生まれた歌が『西海讃歌』だったのです。「この空」も「この海」も「この土」も、実は平戸を歌ったものだと感じた私は、卒業式でこの歌を生徒全員で歌うことはできないか、と担当の先生に相談しました。しかし、残念ながらありませんでした。

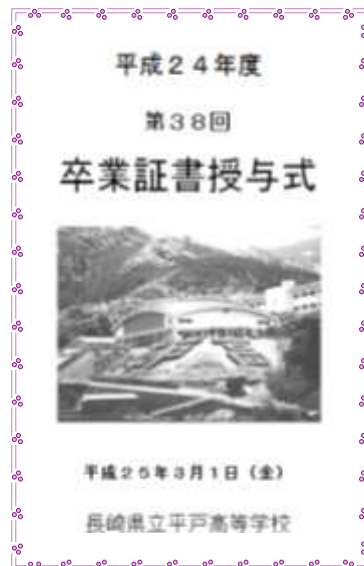
そして、3度目の出会いが、平戸高校です。卒業生を送る歌を『大地讃頌』から『西海讃歌』に変えてもいいと担当の先生が言ってくれました。しかし、卒業式までわずか1カ月です。演奏も歌唱も立派なものにはならないかもしれませんが、それでもいいのです。ふるさとの「この空、海、土」を思いながら練習し、歌ってほしいのです。そして高校時代の忘れられない思い出の1つにしてほしい、と心から願っています。

「無理して変えなくてもいいんですよ」と心配する私に、「平高の生徒たちなら大丈夫だと思います」と頼もしい言葉が返ってきました。

そうです、Yes, you can.

君たちなら、きっとやれます！

第38回卒業式



オープニングコーラスは
藤浦洸 作詞、団伊玖磨 作曲
「西海讃歌」です
在校生・職員一同、
心をこめて合唱します

3月の主な行事予定

1日(金)	第38回 卒業証書授与式
6日(水)	生徒自宅学習 (～8日)
11日(月)	2年 就職ガイダンス
13日(水)	追認考査 保護者説明会
14日(木)	1・2年 追認考査
21日(木)	在校生教科書販売 合格者登校日
22日(金)	3学期終業式 離任式 春季休業 (～4月7日)

第 7 回 総 合 学 科 発 表 会

2月13日（水）開催 会場：平戸高校体育館

1年生：産業社会と人間・自分を見つめてみよう・働くことについて・上級学校訪問・職場訪問

2年生：職場体験・修学旅行

3年生：進路実現への道 就職内定に向けての取り組みと内定先情報・公務員試験の流れ・

4年生大学・短期大学・専門学校受験の取り組み

福祉サービス系列：手話とは？・手話の実践報告・手話披露



吹奏楽部の演奏で幕を開け、各学年が1年間で学んできたものを発表しました。生徒たちは堂々とした態度で、プレゼンテーションや寸劇、実演を行い、大きな拍手を受けていました。

参観していただいた皆様、ありがとうございました。

校 内 マ ラ ソ ン 大 会

2月6日（水）実施 天気：曇り・小雨 気温8度

男子10km 女子5km 力いっぱい走りました！ 走った後は、母の会から特製の豚汁をいただきました。沿道からの応援、ありがとうございました。総合優勝は2年1組でした。



男子優勝 1年 西川

女子優勝 1年 青山

根獅子小の応援

学 校 近 況 報 告

1月の出席率 97.9%



2月10日 学習田で収穫したもち米で“もちつき”



2月15日介護員養成研修 開校式